

能登町文化財レスキュー^{ニュース}-News

第5号 発行日：令和6年5月1日 編集・発行：能登町教育委員会事務局文化財係

「文化財レスキュー」とは??

地震などで被災した家屋などから、古文書や美術工芸品などの歴史・文化的な資料を救出し、安全な場所に一時保管するものです。能登町では元旦の震災を受け、国の機関である文化財防災センターや、民間団体と協力して救出作業にあたっています。救出後には、資料を町で一時的に仮保管し（保管期間を限定します）、今後の取り扱いについて所有者と協議します。

文化財レスキュー活動報告



水田へ落ちている石材の引き上げ作業

【4月28日 最安寺・萬福寺】

瑞穂の最安寺には、町指定文化財の石造五輪塔が3基所在します。今回の地震で、五輪塔が崩れてしまい、一部石材が3mほど土手下の水田へ落ちていました。

28日には、専門家らでつくる「いしかわ史料ネット」会員の皆さんがご協力してくださり、五輪塔の修復作業にあたりました。水田へ落ちていた20キロほどある石材にサラシを巻き、さらにサラシを長く伸ばし、人力で土手上へ引っ張り上げました。そのあと、ほかの落ちてしまった石材とともに元の形へ慎重に組み上げていきました。

最後に、再び地震が起こっても崩れ落ちないように、五輪塔周辺に杭を打って縄で周囲を囲う作業もおこないました。

この日の午後には、松波の萬福寺でも会員のみなさんのご協力を得て、作業をおこないました。地震によって本堂内の仏像が倒れたり、仏像を安置している棚が壊れて傾き、危険な状態になっていました。

作業では、仏像の状態を確認しながら、慎重に棚の上から仏像を下ろし、本堂内に並べていきま



五輪塔の修復作業



五輪塔周辺へのくい打ちとロープ張り作業



萬福寺の仏像移動作業

した。揺れの影響か、像の背後に取り付けられている光背がはずれているものが多く、これ以上破損しないように丁寧に運んでいきました。

地震などで破損した仏像類については、今後、応急的な修復作業をおこなう予定です。



地震で壊れた仏像

能登町立美術館 緊急展示企画 「救出された近代郷土俳人の遺品」

1月1日の震災の復旧・復興の中で、町内に残された多くの歴史・文化関係資料が廃棄や散逸の危機に瀕しています。町教育委員会では、できる限り多くの資料を保護するため、家の片付けなどに際して廃棄しないよう呼び掛けています。そうした中で、戦前に作詩活動をおこなっていた「河村花不言」に関する資料が見つかりました。これを受けて、種田山頭火たねださんとうから自由律俳句の俳人を多く指導した師である荻原井泉水の紀行文「能登三日」にも登場する、花不言の遺品を6月30日（日）町立美術館で公開しています。

かわむら かなげん



河村花不言の遺品

郷土史家の小林篤二氏がまとめた『河村花不言句集』、河村花不言の自筆俳句や俳画、病床の花不言が『佐藤春夫詩集』に書いたメモ、河村花不言の句が掲載された雑誌など8点です。

現在、小企画展示「能登町の俳諧 江戸時代の俳人たちとその句」、美術作品展示「羽根万象作品で見る俳諧の風景」を開催中ですので、あわせてご覧ください。

本紙は町 HP からも見ることができます

https://www.town.noto.lg.jp/www/info/detail.jsp?common_id=20872

